

緑かき紙



令和4年3月14日
山形一中だより 第95号
発行 山形市立第一中学校

保護者のみなさま、地域のみなさま、1年間 ありがとうございました。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により教育活動が制限される中にありましたが、みなさまのご支援のおかげで、生徒も大きく成長し、学校の組織力も高めることができたように思います。心より感謝申し上げます。

また、保護者のみなさまには、学校評価アンケートにご記入いただき、ありがとうございました。学校の良さや課題を再吟味し、課題については対応策を検討してさらなる前進を目指して精進して参ります。今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

山形市立第一中学校長 新野 彰

令和3年度「一中の教育を振り返る意識調査」結果と考察

1 調査について

本校では、教育活動や学校運営について継続して改善を行うために、「一中の教育を振り返る意識調査」を行っています。これは、学校経営方針について、保護者・生徒・教員の三者にアンケート形式で調査するものです。学校経営方針の5分野15項目について、令和4年1月18日から28日までの日程で調査を行い、結果をまとめ、分析をしました。

なお、今年度から、保護者、教職員、生徒（校内にて）とも、Webで回答する形式にしました。

※回答は「4：そう思う」「3：ややそう思う」「2：あまりそう思わない」「1：そう思わない」からの選択

2 調査結果と考察

(1) 総評

「4」「3」の合計が80%を超える評価は、15項目の評価項目中、保護者3項目、生徒11項目、教職員10項目で、保護者の評価項目数が大きく低下しました。これは、ホームページの更新に課題があったことを含め、学校の様子が伝わらなかったことが一因と考えます。ただし、学年が上がるにしたがって評価が高くなる傾向があり、学年を追う毎に中学生としてあるべき姿を理解し、生徒自身が成長しているからと考えます。

(2) 成果

各質問項目とも概ね「4」「3」の評価で、三者からいずれも90%以上、あるいは生徒と教員からそれぞれ90%以上の高い評価を得たのは、次の2つの項目です。

三者が高い評価

「いのち」を大切に作る心を育て、自己有用感を高める

項目1(1)

生徒と教員が高い評価

互いの個性を尊重し、共に伸びようとする力を養う

項目1(2)

「一中いのちの日」の取組では、講話や読み語り、仲間の良さに目を向けた社会性

を養う活動等を行い、「いのち」を見つめる大切な時間として定着しています。また、振り返りをきちんと行った上で、「いのちの日便り」を発行し、その活動内容や生徒の感想を生徒や保護者に伝えていることも高い評価につながっていると考えています。コロナ禍にあっても「FF体育祭」や「合唱コンクール」等の学校行事を可能な範囲で実施し、本番に至るまでの過程を大切にしたり取組やその活動を通して、充実感や自己の成長を実感することができていることがうかがえます。

また、「修学旅行」「仲間づくり研修」をはじめとする、学級、学年、学校等の仲間づくりに重点を置いた活動の中では、一人一人の存在感や自分の良さを自覚できるように配慮し、よりよい人間関係構築に努めました。学年団や担任を中心に二者面談やQ・Uアンケートを踏まえた取組等を行ったことが成果につながっていると思われます。特に「修学旅行」については、最終的に旅行先が県内実施となりましたが、感染予防を行いながら、実行委員を中心として生徒全員が力を合わせ充実したものにすることができたため、保護者からの意見は特にありませんでした。

(3) 課題

「4」「3」の合計が80%以下の項目を評価が低いと捉えたときの、低い評価項目は、次のとおりです。

三者が低い評価	
◆本物や本質に触れ、知的好奇心を揺さぶる授業展開を工夫する。	項目2(2)
◆地域を舞台にした教育活動で郷土愛を育み、地域の一員としての自覚を高める。	項目5(1)
◆地域の指導者や支援者の協力を得て、地域に開かれた教育活動を実践する。	項目5(2)
保護者と生徒の二者が低い評価	
■ボランティア活動により、社会性や貢献意欲を育む。	項目3(3)
保護者と教員が低い評価	
■夢や目標を持ち、主体的に生き方を考える力を養う。	項目1(3)
■学校評価の結果を分析し、学校経営に生かす。	項目5(3)

三者ともに評価が低かったのは、項目2(2)、項目5(1)(2)でした。項目2(2)については、教員の授業力や指導力を高めるために校内研修などを実施してきましたが、今後、新型コロナウイルス感染の収束状況を見ながら、保護者の授業参観等の場を工夫して設定し、生徒の学びを観ていただきたいと考えています。

また、保護者の意見では、多くの方が一中の良い点として「ボランティア活動」があげられているものの、特に1年生の保護者・生徒の項目3(3)の評価が、どちらも60%台と低かったようです。コロナ禍において地域を舞台とした活動や地域との方との交流が制限され、実施の機会が少なかったとことが影響したと考えます。それが、項目5(1)、(2)の三者における評価が低くなった原因とも考えています。社会性や貢献意欲を育み、自主性の育成や思いやりの心の醸成をめざし、今後も「ボランティア活動」を継続していきます。また、総合的な学習等で地域を舞台にした学びを取り入れ、一層郷土愛を育むようにしていきます。

最後に本意識調査の結果をもとに、今後早急に課題解決に取り組むことが可能なことから実践に移し、次年度の教育活動の充実に努めて参ります。これからも本校教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、寄せられたご意見をまとめたものを、学校のホームページに掲載します。ご一読ください。